

カナダで江戸時代の武士に関する講演

「江戸時代の武士たちー「描かれた武士たち」から考えるー」

国際交流基金（ジャパンファウンデーション）は、1月23日からカナダにて、久留島浩国立歴史民俗博物館教授を講師に招き、江戸時代の武士をテーマにした講演会を行ないます。

今日、日本文化を「サムライ」（武士）の文化だと捉えることは国内外で定着しているかの観があります。たとえばサッカー日本代表は「サムライジャパン」の愛称で親しまれており、海外の博物館の日本展示では、刀や鎧、兜が好まれます。「サムライ」には、質実剛健、潔癖・潔さといったイメージが込められています。しかし、いつ、このように日本人の男は「サムライ」（武士）というイメージが生まれたのか？ 支配者であった江戸時代の「武士」たちとは実際にはどのような存在だったのか？ 絵画に描かれた武士たちを通して、江戸時代の武士についての講演を行います。

■モントリオール

日時：2013年1月23日（水）

会場：ポワンタキャリエール考古学博物館

■ケベック

日時：2013年1月24日（木）

会場：ケベック文明博物館

■トロント

日時：2013年1月26日（土）

会場：トロント日本文化センター



河鍋暁斎画 東海道 高縄牛ご屋（個人蔵）



講師：久留島 浩（くるしま ひろし）

1954年生まれ。国立歴史民俗博物館教授、総合研究大学院大学教授。東京大学文学部助手、千葉大学助教授等を経て、1998年より国立歴史民俗博物館に勤務。企画展示「収集家100年の軌跡ー水木コレクションのすべてー」（1998）、くらしの植物苑特別企画「伝統の朝顔」（1999）、企画展示「地鳴り山鳴り」（2000）、「武士とはなにか」（2010）、「行列に見る近世ー武士と異国と祭礼とー」等を担当。近世後期の地域社会の歴史的性格についての研究、近世社会における儀式・儀礼・祭礼の研究の他、歴史系博物館の教育プログラムに関する研究にも力を入れている。主な著書に「近世幕領の行政と組合村」など。

【お問い合わせ】 文化事業部 米州チーム 篠原

電話：03-5369-6061